

私のいろいろ

松^{まつ}
下^{した}
奈津希^{なつぎ}

私はちてきしょうがいがあります。

今まで楽しいことやうれしいこともたくさんあったけれど、こまったことや大変なこと、つらいこともたくさんありました。小さかった時のこととか、わすれてしまっていたことは、お母さんに聞きました。いろいろな出来事を書きたいと思います。

へいせい八年十月二十六日三千六十グラムで私はうまれました。

ねることが苦手な赤ちゃんだったみたいです。音にびんかんで、ビニールのがさがさいう小さな音でもすぐにおきてしまいました。今も大きな音は苦手です。

だっこれが好きでベビーカーはあまり好きではなかったみたいです。

くつ下をはくのが好きではなくて、ようふくのタグがいたくかんじたり、きつくないようふくもきつくかんじていました。今は小さいころよりは、よくなりました。

かいだんをのぼることは出来たけど、こわくて降りることがなかなかできませんでした。ジャングルジムも上からおりることが出来なくてこまりました。

ひらがながなかなかおぼえられませんでした。書くのもむずかしくて、お手本があっても同じように書けなくて何ども練習しました。今もかん字やえい語は苦手です。

小学校一、二年生の時、国語のきょうかしょをよむしゅくだいが毎日でした。しゅくだいをやったらお花に色をぬって、先生に見せます。時間はかかったけど、さいしょはみじかい文だったので、がんばってよんでいました。でもだんだん長い文になっていって、三回読まないとお花に色をぬってはダメで、私のお花は白いままになってしまいました。お母さんがルールブックという本を買ってきてくれました。その本には、「人から何かをもらったらありがとうと言います」とか、「自分が言われていやなことは人にも言いません」とか大切なことがたくさん書かれています。お母さんが先生に、きょうかしょのかわりにこの本を家で三回ずつよむというしゅくだいに変えさせてほしいですとおねがいしてくれました。だから私はその本をよんで、毎日お花に色をぬりました。

休み時間が私は好きではありませんでした。みんな休み時間になるとこうていにあそびに行きました。でも私は一人ぼっちだったのできょうしつにいました。先生に「休み時間はこうていにあそびに行つて」と言われました。すぐこまりました。

小学校三年生からとくべつしえん学きゆうに行きました。バスに二回乗つて行きました。ずっとお母さんにおくりむかえしてもらつていました。でも一人で学校まで行けるように、少しずつ練習して、一人で行くきよりのばして行きます。はじめて一人でバスに乗つた時はドキドキしました。学校から帰る時、友だちにバスのていきをとられてしまつて、かえしてもらえませんでした。どうしていいか分からなくて、パニックで泣きながらバスでいに行きました。うんてんしゅさんに「どうしたの？」と聞かれました。「ていきがない」とだけ言えました。やさしいうんてんしゅさんで「次に乗る時に、今日のぶんのお金もはらつてね」と言つて乗せてくれました。

しえん学きゆうの中学は家のちかくでした。とくべつしえん学校の高校は、電車の乗りかえともあつたから大変でした。電車は止まらない電車もあるし、と中からちがう方にわかれるものもあるし、かいさつも一つでないえきもあるからむずかしくて、なんかいもなんかいも練習したけれどおぼえるのがすごく大変でした。○○ほうめんとかかん字で書いてあるとわからないしおぼえられないので、一番ホームとか二番ホームつて紙に書いてもらつて、いつもその紙を見ながら学校に行つていました。今でも電車やみちをおぼえるのが苦手でもずかしいです。

はじめて会社に行った時、私のせきがありませんでした。「とりあえずここに座ってて」と言われました。次の日もその次の日もせきがなくて、その日にお休みした人のせきに座りました。毎日朝会社につくまでどこに座ったらいいのかわからなくてすぐくふあんでした。「しようがいしゃがとなりにきたいやだ」と言う人や、「明日私休みだから、私のせきに座られちゃう」といやそうなかおをされてかなしかったです。

おほえたり、出来るようになるまでに時間がかかるので、仕事をおほえるのはすぐく大変でした。学校で、はたらいてお金をもらうということはせきにんがあるから、ミスなく正かくにいていに仕事をするとおそわったので、ゆつくりですがミスがないかかくにんしながら、仕事をしました。ある人から、「もつとちゃんと仕事をして」と言われました。「私がない時とか見てない時にさぼってる」みたいなことを言われました。私はさぼったりなんかしてなくて、いっしょうけんめいやってもそこまですか出来ませんでした。毎日のようにいろいろ言われるようになったり、ほかの人も一緒に言ってきたり、見て見ぬフリをする人もいてすぐくつらかったです。「きゅうりょうどろぼうかねかえして」と言われた時はすぐくすぐくシヨックでかなしかったです。お母さんは「ほかにもっといい会社があるから、もうがんばらなくていいんだよ」と言ってくれたけど、私はもう少しがんばろうと思ってしまいました。会社のトイレで泣いてる人がいて、つらいことがあってもその人もがんばって仕事をしているんだと思いました。でもだんだん目や足やかたがいたく

なったり、気持ちが変わるくなったりすることがふえて、朝おきあがれなくなっていました。私
がしようがいしゃだからいやだったのか、私がダメだからいやだったのかわからないけれど、人が
こわくなってしまいました。

さいきんこまったことがあります。行き方の練習をする時にけしきやおみせをめじるしにしてお
ぼえたり、しゃしんをとっておぼえたりしています。さいとうたくみさんのカンバンをめじるしに
おぼえていたのに、ある日アニメのカンバンにかわってしまっていておりるかいだんがわからなく
なってしまうました。あとは工事していて、とおれていた道がとおれなくなってしまう時も道が
わからなくてすごくこまりました。あせつてあせがとまらなくなりました。

乗っていた電車がきゅうにうんでん見合わせになってしまった時すごくこまりました。みんな
どっどっおりて行ってしまつて、いなくなつてすごくあせりました。えきいんさんはみんないそが
しそうにしていて話しかけれないし、聞けたとしても口で言われてもわからないし、練習してから
でないところがう行き方はむりなので、ただそこで電車がうごくのをまつことしかできませんでし
た。いつうごくかわからなくて、すごくふあんでしんばいでした。

はじめて行くびょういんは、もんしんひょうを書かないといけません。今はお母さんと一緒に行
くからわからないところは聞けるけど、一人で行かないといけなくなつたら、よんだり書いてある
いみがわからなくてきつとこまると思います。

これから先もいろいろこまることがたくさんあると思います。出来ることをふやしていきたいです。しょうがいしゃでもくらしやすい国になったらうれしいです。

松 下 奈津希

一九九六年生まれ 東京都在住



【受賞のことば】

とくべつしようにえらんでいただいてすごくうれしかったです。うれしい事があると、つらい事や大変な事があってもがんばれます。本当にありがとうございます。

私には、かなえないゆめがあります。

なのでこれからも出来る事をふやしてがんばっていきます。

選 評

周囲からはご本人の困り感が理解されにくいとされる知的障害。「ひらがながなかなかおぼえられ」なくて「書くのもむずかし」かったと振り返る筆者ですが、本作品はとても丁寧な手書きの文章でつづられています。

知的障害のある「私」が、勉強や通学、仕事などでどのようなことに困り、どのように配慮してもらったときにうれしかったのか。優しく接してくれる人やそうとはいえない人もいるけれど、前へと歩み続ける「私」目線のエピソードが教えてくれます。

(松崎 貴之)